

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、朝礼、全体ミーティング等で共有している。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則に規定し、新入社員研修等で教育を行っている。																		16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		就業規則21条5項(4)に規定し、新入社員研修等で公正な競争に関する教育を行っている。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		【予定】2025年4月までに、社内体制の整備を行う。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		就業規則21条4項・29条に規定し、新入社員研修等で知的財産保護に関する教育を行っている。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		就業規則29・30条に規定し、サーバーシステムの管理の徹底や、個人情報の取扱い専任者を指定し、個人情報保護に取り組んでいる。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		タウンマネジメント会議を開催し、「持続可能で災害に強い街」を作るためにステークホルダーとの対話を行っている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則21条3項(8)・27条にハラスメントを防ぐ体制を規定しており、同規則130条にて相談窓口を規定し、専任の相談対応者を置いている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		就業規則第11章に規定しており、快適職場環境の形成のために朝掃除や定期的な清掃、健康保持・増進のための処置として年に1回の健康診断は特別な項目による健診を付加したものを全社員受診している。			3				8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		就業規則第6章に同一労働同一賃金を規定し、同一労働同一賃金の仕組みが整っている。					5.5		8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		育児・介護休業規定において、育児短時間勤務・介護休業・子の看護休暇などの制度を設けている。			3		5.5		8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		就業規則115条に教育研修及び試験費用等を規定し、外部研修受講や資格受験支援などに取り組んでいる。				4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		就業規則11章第1節に安全及び衛生規定し、空調・空気清浄機・加湿器などを配置し快適な社内環境整備し、インフルエンザ予防接種も会社負担で接種している。			3				8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		定年退職後の再就職者の採用・継続雇用を行っている。 また女性社員数も徐々に増加している。				4.4	5.1 5.5		8.5		10.2 10.3							16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等導入している。	●		surface・テレビ会議等の導入を行っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業に認定されている。				3	4			8	9			12							

新規

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:

株式会社 南栄開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質を把握し、ゴミ分別の徹底を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気・ガソリン・ガスの使用量の統計をとり、エネルギー使用量を把握するとともに、国土交通大臣認定の低排出ガス認定車を社用車とするなど、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		電気・ガソリン・ガスの使用量から、積算した温室効果ガス排出量を記録している。また国土交通大臣認定の低排出ガス認定車を社用車とし、温室効果ガスの抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		生態系への影響が少ない再生可能エネルギーである太陽光発電を利用した建物の提供を促進することで、生物多様性の保全に努めている						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙を積極的に活用している。 ・FSC認証を受けた紙を使用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		くまもと地下水財団の賛同会員であり、自社が保有している井戸水の使用量を記録するなどして、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・FSC認証を受けた紙を使用している ・人感センサーライトを採用している									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●								6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 "伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

新規

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 南栄開発

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		土地の調査から工事完了まで、一貫して自社で行うシステムを構築している。また、安全な土地を供給するための技術や社内情報の管理を徹底している。			3.9							9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		不動産業として、誰もが利用しやすい建物の提供(COCOSA)や防災拠点建物の提供(熊本YMCA本館)により、ユニバーサルデザインの普及に取り組んでいる										9.1	10	11.7									17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7						12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	不動産業として、人口減少と高齢化に対応する提案に注力し、社会的ニーズを満たすとともに、地域活性化や環境問題への取り組みを促進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・月に一度大洋デパート火災慰霊碑の清掃活動を行っている。 ・熊本城復興支援、人吉豪雨災害支援等を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・熊本・福岡各事業所に防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員に会社のハザードマップを周知している。				4								11.5		13.1					16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	防災拠点施設(熊本YMCA本館)の提供を行っている。											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4						8.6		10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度に参加している ※県内企業等に就職する若者の奨学金返還や赴任費用等を支援する制度						4.4					8.5 8.6									17			
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。